

行歯会だより(第16号)

2006年10月(毎月発行)

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

理事長の中垣先生 曰く

「口腔衛生学会よいとこ、一度はおいで！」

皆さんの仕事の「衛生行政」は、ちゃんと「科学行政」になっていますか？ 行政のルーツは「祭りごと」ということで相変わらず「イベント行政」ばかりやったり、「横並び行政」「前年踏襲行政」なんてやってませんか？ 一番多いのは“まず金ありき”の「財政主導行政」ですかね？ (これには勝てない?!)

私達は歯科専門職として、行政が行なうべき歯科保健事業については、肅々と予算要求をすべきと考えます。この時、事業の正当性、妥当性を一番バックアップしてくれるのが、いまのところ科学的根拠であると言えます。口腔衛生学は私達の仕事を科学の力でサポートしてくれる大切な味方です。

今回は、口腔衛生学の総本山、日本口腔衛生学会のトップ、中垣先生に書いていただきました。

本文3の、先生の考えと私達への期待は、是非読んでみてください!!!



日本口腔衛生学会
理事長 中垣晴男

日本口腔衛生学会へのお誘い

全国行政歯科技術職連絡会への期待

全国行政歯科技術職連絡会会員の皆様おわかりごさいませんか。平素、日本口腔衛生学会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。この機会に我日本口腔衛生学会へのお誘い(現状と今後の活動方向)および貴会への期待を申し上げます。

1. 日本口腔衛生学会の沿革と現状

1) 日本口腔衛生学会(当時口腔衛生学会)は、1952(昭和27)年5月11日東京歯科大学で奥村鶴吉学会長で、生田信保幹事長(現理事長)として創立されました。これは、従来行われていた「口腔衛生思想の普及運動に、科学的な生命を吹き込むために、更にまた各研究者の横の連絡を図る機会(奥村のため)であった。1980(昭和55)年に日本口腔衛生学会と改称し、今日に至っています。また、同時にその機関誌「口腔衛生学会雑誌」が発行され、今日55巻、また年1回の総会も今年の平成18年10月7・8日に、第55回日本口腔衛生学会・総会(学会長 栗石聰 大阪大学大学院教授)で開かれましたところ。

学会の構成・会員数(平成18年8月31日現在)はつぎのようです。

理事数 56名(内常任理事 13名) 監事 2名

評議員数 155名 会員数 2,514名

口腔衛生学会認定医 359名 口腔衛生学会指導医 37名

委員会 11: 編集委員会、認定医委員会、フッ化物応用委員会、

医療問題委員会、情報委員会、学術研究委員会、国際交流委員会、禁煙推進委員会、健康日本21委員会、歯科衛生士委員会、学会あり方委員会

2) 近年の学会の宣言・提言・出版物

2002年「フッ化物応用への学術的支援(2002)」(日本口腔衛生学会)

2002年「禁煙宣言: たばこのない世界を目指して」(日本口腔衛生学会)

2004年「禁煙宣言: たばこのない世界を目指して行動を」(日本口腔衛生学会)(日本学術会議への提案)

2004年「矯正歯科治療等における口腔衛生管理に関する提言」(日本矯正歯科学会、日本小児歯科学会、日本口腔衛生学会、日本歯科医学会)

2006年「歯科衛生の動向(第7版)」(医歯薬出版)出版

2. 日本口腔衛生学会総会および学会雑誌からみた学会の動向

1) 特別講演・宿題報告・シンポジウムのテーマ

第1回(1952年)~第10回(1961年)の初期は、口腔衛生学(予防歯科学)の意義、歯・口腔環境、フッ化物応用・予防処置が多かった。

第11回(1962年)以降はう蝕・再石灰化・フッ化物が多くなり、第21回(1972年)~第30回(1981年)は微生物・口腔環境、歯科の疫

学、健康づくり、第31回(1982年)～第40回(1991年)は成人・地域歯科保健、健康づくり・ヘルスプロモーション、産業歯科保健、歯科衛生行政、第41回(1992年)～第50回(2001年)はフッ化物応用、健康づくり、ヘルスプロモーション、国際協力・交流、そして第51回以降は、健康づくり・ヘルスプロモーションが多くなっています。1972年の第21回以降は、健康づくり・ヘルスプロモーションが必ずとり上げられ、しかも頻度が多くなっているのが特徴となっています。

2) 口腔衛生学関係国際誌と口腔衛生学会雑誌掲載論文の分布

口腔衛生に関する国際誌と口腔衛生学会雑誌に掲載された論文上位2分野では、Community Dental Health 保健政策(40.3%)と保健行動/意誌(36.1%)、J.Pub.Health Dent 疫学/統計(41.4%)と保健政策(30.9)、Community Dent & Oral Epidemiol は疫学/統計(46.8%)と保健行動/意誌(24.3%)であるのに対し、口腔衛生学会雑誌、基礎系実験的研究(34.1%)と疫学/統計(33.7%)でありました(新庄 2001)。口腔衛生学会は、基礎系実験的研究が疫学/統計と同じ程多く掲載されているのが特徴です。

3. 日本口腔衛生学会の立場で考えること、全国行政歯科技術職連絡会の皆様へ期待すること

1) 「健康日本21」とメタボリックシンドローム

2000年に第5次国民健康づくり運動「健康日本21」がスタートし、2005年国および全国で中間見直しがされています。「健康日本21」は米国のHealthy Peopleの2つの柱のうち目標値を取り入れています。もう一つの柱である健康の不均等をなくすことが取り上げられていけませんので問題だと思えます。また、近年、メタボリックシンドロームが注目され、健康づくりの上滑りがおきないか心配です。すなわち、施策がリスクストラテジーにヘシフトし、ポピュレーションストラテジーが忘れられたり、歯科が健康づくりに関係ないとされはしないか心配です。

2) 健康づくりと健康創造

学会ではう蝕、歯周疾患をはじめ、疾患になった症例(case)はどのような因子が関係していたかについては多く研究されてきています。その結果、疾患になる因子を防げば、健康がまもれると思われがちです。しかし、健康づくりは、健康であった人は疾患になった人に対してどのような特徴があったかを調べて施策をすすめる必要があると思えます。すなわち、健康創造(Salutogenesis)とう考え方が必要と思っています。

3) “ボーリング・アローン(Bowling alone)” とソーシャル・キャピタル(Social capital)

米国でボーリングを一人で行っていることに注目したプットマン(Putnam)は、これは人と人との結びつきが弱く、信頼感のない社会となり地域社会が崩壊している証拠として「ボーリングアローン(Bowling alone)」という本を書きました。例えばボランティア活動がさかんな地域には犯罪が少ないとかはこの例です。健康づく

りは地域での結びつきがあってできます。健康づくりはBowling aloneと無縁といえません。すなわち、社会の信頼性をあらわすソーシャル・キャピタル(Social capital)という考え方が必要と思っています。健康づくりは地域づくりという公衆衛生の大原則を改めて認識したいと思っています。

4) 老人・障害者保健から成人・青少年保健へ

障害者保健も十分とはいえませんがすすめられてきています。また老人保健へ口腔の健康が寄与することは近年明らかにされてきているのはご存知のとおりです。

しかし、健康づくりは健康であると思っている人々に健康の大切さや、よりよい習慣を身につけるように働きかけが大切です。とくに高校生から20歳代の健康づくりは本当に大切と思いますが、現状ではあまり手がつけられていません。火の燃え始めを消してではなく、火が生じないように施策がすすめられるべきです。これこそポピュレーションストラテジーです。是非行歯会の皆様と一緒に、青年、若い成人保健に取り組んでいきませんか。

5) 学会の社会活動と専門学会の役割

国民が健康を大切にするようになってきていて、健康の科学を扱う本学会の真の価値が問われています。社会科学系の歯科の学会として本学会の役割が大きくなってきていると思えます。今後はさらに、専門的な学問をさらに深めていく必要があります。一方、社会への活動は大切です。例をあげると禁煙推進に関する11学会(歯科の学会は、本学会、日本口腔外科学会、それに日本歯周病学会の3つが加名)によるJRへの働きかけはよい例であると思えます。学会の社会化です。

6) 学会では現在、中間法人化をすすめていて、2007年10月の第56回日本口腔衛生学会総会(学会長:松久保隆東歯大教授)で設立総会、2008年4月スタートする予定です。学会の法人化は社会的に責任をもつ団体(法人)となること、将来専門医制度の準備をするためです。専門医制度は2種ある指導医とちがって一本化するというのが学会のおおよその考え方です。この点、行歯会の皆様の支援をお願いします。

貴会と我日本口腔衛生学会もご協力して国民の健康づくり、歯の健康づくりに努力していきたいと思えます。多数ご入会ください。終わりに、貴会の益々の発展を祈念申し上げます。

(愛知学院大学歯学部教授)

日本口腔衛生学会の入会手続きは下記の事務局、もしくは、大学の口腔衛生学関係講座に入会書類を請求ください。

事務局：郵便番号 170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9

財団法人 口腔保健協会 日本口腔衛生学会

電話：(03)3947-8891

ファックス：(03)3947-8341

年会費：8,000円、入会金：2,000円

地域紹介 わたしの街自慢

京都市政広報ポスターです

遷都1200年の 古都の隠れた魅力を 楽しんでみては !

京都市保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
中村 雅子



行歯会の皆さま、こんにちは。京都市の歯科衛生士、中村です。今、私が所属している健康増進課には6名の歯科衛生士がありますが、私が今のところ代表で行歯会に入っているため、今回京都市の地域紹介をさせていただくことになりました。

しかし、京都のことを紹介するにしても、最近是他府県の方が、修学旅行等で一度は京都に来られ、二条城・清水寺・金閣寺に銀閣寺、それに、NHKの大河ドラマ「功名が辻」や「義経」・「新撰組」の名所旧跡の訪問、また、あっさり味の京料理と、日々京都で暮らしている私たちが知らないことが多いのではないかと思います。

「京都の魅力」を発信するために製作された京都市政広報ポスターのキャッチフレーズ「日本に京都があつてよかった。」(京都人の考え方もかもしれませんが...)と皆さまにも思っていたような、京都の紹介ができればと思います。

京都は、神社仏閣の「古都」の顔、京都大学・同志社大学・立命館大学などがあり、市の人口の1割が学生で「学生の街」の顔、また、市の人口147万人の「大都会」の顔があります。

夏は蒸し暑く、冬は底冷えの寒さ(雪は降らないが水が凍るような寒さ)で日本でも屈指の住みにくい気候とされています。しかし、その気候が、四季折々の社寺仏閣や御所の庭園や山々の美しさ、京都三大祭り(春の葵祭・夏の祇園祭・秋の時代祭)、鞍馬の火祭(時代祭の夜に義経の修行場の鞍馬で行われる火を使う祭り)及び五山の送り火(8月16日)など季節を感じる行事があります。京都人は、それらの行事で季節を感じ、生活を送っています。

今回ご紹介するのは、私が住む京都市中京区(市役所・河原町がある区)の周辺の定番観光地に隠れた処の話をしてみたいと思います。

昨年大河ドラマの「義経」で、白拍子の静御前が元服前の義経(紗那王)と出会った「神泉苑」が御池通にあります。「神泉苑」にある池は、桓武天皇が平安京の遷都に際して、唐の長安・洛陽をモデルに風水を駆使して考えた時に、都の守り神(龍)が水を呑む処として造られたとい

う謂われがあります。



二条城

二条城の近く御池通の南には、「二条陣屋」(民家)があり、徳川家康が築造し、歴代の将軍が征夷大將軍を天皇から受ける際に宿泊する二条城に地下で繋がっているといわれ、危険が生じた際に隠れる処(仕掛け屋敷)といわれています。

—昨年大河ドラマ「新撰組」(SMAPの香取慎吾が

近藤勇になりました)の舞台となった「壬生寺」や「八木家跡」(拝観可)がありますが、壬生寺には室町時代から伝わる重要無形民俗文化財の「壬生狂言」があります。これは疫病封じの無言狂言で、かね・太鼓・笛の囃しに合わせ仮面をつけた演者が無言で演じます。私のお勧めは「土蜘蛛」という演目ですが、「土蜘蛛」から吐き出される糸をキャッチできるということがあるそうですよ。

壬生寺の近くに四条大宮という阪急電車と京福電車の駅がありますが、そこから京福電車に乗って、嵐山駅まで行くコースはお勧めです。電車は、昔の市電(1又は2両編成の路面電車)で、昭和40年代まで市内を走っていた市電を思い出させます。まずは、駅名が非常に面白いことが目につきます。皆さんは



壬生狂言「土蜘蛛」

読めますか。

「西院(さい)」、「蚕ノ社(かいにのやしろ)」、「太秦(うずまさ)」、「帷子ノ辻(かたびらのつじ)」、「有栖川(ありすがわ)」、「車折(くるまざき)」、「御室(おむろ)」、「常盤(とさわ)」の駅があります。

観光地としてお勧めは、「太秦(うずまさ)」で下車し弥勒菩薩で有名な「広隆寺」、「御室(おむろ)」で下車し「仁和寺(御室御所・御室枝垂桜)」, 山水の石庭で有名な「龍安寺」を見て、最後は終着駅の嵐山から桂川の「渡月橋」、嵯峨野めぐり(二尊院・落柿舎等)はいかがでしょうか。

これからの秋にお勧めなのは、幻想的な夜の紅葉と庭園を見られる、祇園から清水一帯の夜間拝観です。

夜間拝観は、修学旅行の定番の「清水寺」(昼は弁慶の鉄下駄が大舞台横にありますので見て下さい。)、大河ドラマ「功名が辻」の北政所が暮らし大阪夏の陣の前に真田幸村(弟:大阪方)・真田信幸(兄:徳川方)が会った寺「高台寺」、旧皇族の寺院「青蓮院」の池に浮かぶ紅葉のライトアップが幻想的で綺麗です。



嵐山花灯路

イメージ写真

また、平成17年から開催された「嵐山・花灯路」は大変観光客にも人気があったようです。12月に開催されますので、冬の京都も楽しんでください。

昼には、祇園の八坂神社の南の東山丘陵にある「護国神社」に行かれます。幕末の勤王の志士「坂本龍馬」(海援隊隊長・薩長同盟の立役者)、「中岡慎太郎」(龍馬の友で勤王志士)及び「木戸孝充」(長州藩桂小五郎)の墓があり、京都市内を一望できます。本当に、祇園の街で尊皇攘夷の嵐が吹き荒れたのかと錯覚させられます。

ちなみに、二条城は、坂本龍馬が考え土佐藩(家老後藤象二郎)が徳川慶喜に具申し、朝廷に政治を返す「大政奉還」がされた処でもあります。

坂本龍馬のゆかりの地では、伏見に龍馬の定宿の「寺田屋」が残っており、黄桜などの伏見の酒蔵や伏見港公園では「三十石船」(淀川を大阪から京都まで人や物を輸送していた手漕ぎ船)も見ることができます。

京都御所も11月に1週間の一般拝観(無料)がありますし、最近では、京都御所、桂離宮(NHKのプロジェクト



京都御所

でも修復を紹介)、修学院離宮も宮内庁京都事務所のホームページで日時間限定・人数限定(無料)での拝観がありますので、京都に来られる前に予約されると、また違った古都が味わえるのではないのでしょうか。

京都市内を外れた紅葉の名所と言えば、高尾の「神護寺」・梶尾の「高山寺」、八瀬大原の「三千院」・「寂光院」(建礼門院徳子の寺:近年火災)が有名で、山里の紅葉と物静かな風情が楽しめます。

京都と言えば、日本三大美人の産地(?)で、「舞妓さん」に代表されるように、おっとりとした「京都弁(京ことば)」がその魅力だそうです。

「おおきに〜」、「…どすえ〜」(なんどす・そうどす)、「おぶどうどす〜(お茶どうです)」、「またお越しやす〜」など、聞いている人の心を和ませる響きがあります。残念ながら私たちは京言葉を話せませんが、雰囲気だけは感じていただけるかも…

京都の料理では京懐石や湯豆腐・ゆば料理が古くからありますが、これに並んで漬物も有名です。しば漬けやすき漬け・千枚漬けは皆さんもご存知でしょう。

ぜひ、この秋、五感で京都を味わってください。

最後に、京都市の歯科保健の取り組みについてご紹介させていただきます。

京都市の歯科保健スタッフは健康増進課に歯科衛生士が6名、教育委員会に歯科衛生士が1名で歯科医師はおりません(涙)。健康増進課歯科衛生士6名が市内14箇所の保健所・支所の歯科保健に関する健診・相談・健康教室に従事しています。まずは、市民の方に来てよかったですと思えるような事業になるよう、スタッフとの連携をとるよう努力しておりますが、事業のたびに保健所へ出向いていくような体制では十分といえないことも多くあります。

しかし、歯科保健だけでは生き残れない今、介護予防事業や食育など、他の部署や他職種との連携が重要であるとひしひしと感じているところです。

今年度、京都市でも、地域支援事業の介護予防特定高齢者施策の通所型介護予防事業として「口腔機能向上教室」が始まりました。京都府歯科医師会に委託し実施しましたが、利用者が少なく問題は山積みです。先日も、近畿連の介護予防勉強会に参加しましたが、参加した方々の現状や工夫、また歯科医師の先生方からの情報提供はありがたいものがあります。また、行歯会ではリアルタイムでの情報提供、すばやい情報交換(今は見るだけ~ですが)、歯科医師のいない京都市にとっては、「歯科保健情報の宝箱や~」(君麻呂風)。

京都市の歯科保健は、遠回りをしたり、壁にぶち当たったり、先の見えない状態ですが、なんにでも首を突っ込み、この手に掴んでいかなければと思っています。

行歯会の皆さまには、今後ともご指導いただきますよう、お願いいたします。

長々と、地域紹介をいたしましたがお聞きは一見にしかず!どうぞ京都へおこしやす~。

フロリデーション装置紹介 (2)

アドバイザーは語る

日本大学松戸歯学部社会口腔保健学

田口千恵子

今回は、地域にあるフロリデーション装置を紹介します。

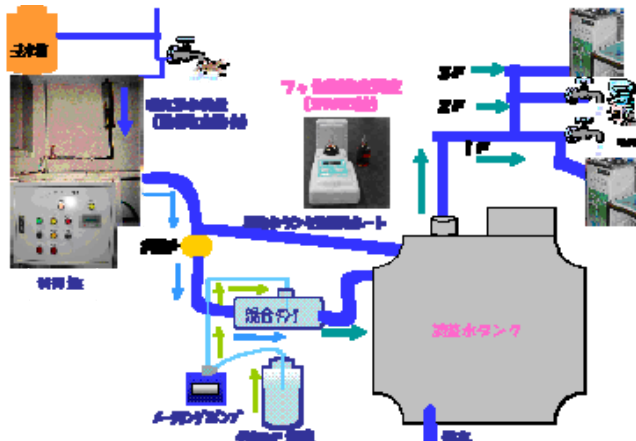
群馬県下仁田町では、乳歯のむし歯予防対策としてのフッ化物歯面塗布、町内全保育園でのフッ化物洗口が行われており、子どもたちのむし歯予防に成果を上げています。H14年には「健康しもた21」を策定し生涯にわたる歯科保健対策の充実に取り組んでいます。翌H15年には、8020推進財団の歯科保健活動助成の交付により、「健康しもた21『8020』推進委員会」が組織され、「健康づくり推進協議会」に対し、「フロリデーションが有効性、安全性、実用性において、各種フッ化物応用の中で最も優れた公衆衛生的な方法である」、「実施にあたっては、住民に科学的根拠に基づく正確な情報を十分に提供し、住民の理解協力を得る必要がある」の2点を趣旨とする提言を行っています。



フロリデーション装置

この提言を受けて健康づくり推進協議会での検討が重ねられ、H17年1月には、口腔衛生学会監修、下仁田町・富岡甘楽歯科医師会発行のフロリデーションパンフレットが作成されました。翌月には、厚生労働科学研究班の技術支援を受け、「ふれあいセンターフロリデーションモデル事業」の実施が決定されました。

決定後、松戸歯学部フロリデーションデモ装置を下仁田に移動し、新たな装置の検討の取り組みがなされました。同7月には、ふれあいセンター1階の保健センターに、厚生労働科学研究班の技術支援、日本口腔衛生学会の学術支援および富岡甘楽歯科医師会の協力が得られたフロリデーションモデル装置が設置されました。この装置は、センター内1階に設置されており、館内の給水設備の一部と接続され、1、



下仁田町ふれあいセンター

3階のホールに設置されたウォータークーラーや2階の調理室などでフッ化物濃度0.8ppm以下に調整されたフロリデーション水を自由に飲んだり、利用したりすることができます。

この装置の仕組みは松戸歯学部フロリデーションデモ装置と変わりありません。

松戸歯学部の装置は校内の給水設備との直接接続はされていませんが、下仁田モデル装置は、館内の給水設備と接続されているため、かなり小型化されています。フロリデーション水作製は、制御盤のボタン操作で行います。調整開始後、調整水タンク(約200リットル)が満水となると、自動的にストップします。

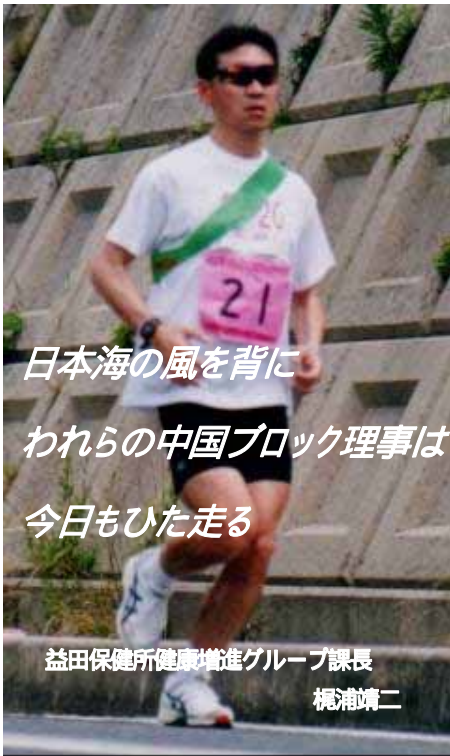


フロリデーション水のウォータークーラー

調整水タンクから水をサンプリングし、必ずポケット簡易水質計にて濃度測定を行います。測定値が0.8ppmF以下であることを確認後、制御盤の検査部にキーを差し込み調水完了となり、送水することができます。濃度のダブルチェックのため、フロリデーション水を不定期にサンプリングしていただき、松戸歯学部にてイオン電極法による測定を行っています。現在の稼働は週2-3回程度であり、保健師、水道課経験者、町内在宅歯科衛生士が担当されています。また、ふれあいセンター内だけでなく、希望した町内歯科医院、薬局、鍼灸マッサージ院でも待合室でフロリデーション水を飲むことができます。また、自宅での利用にはペットボトルを持参し持ち帰ることもできます。町民の皆様の反応は好意的であり、今後ますます楽しみにしています。

行歯会の皆様も一度、本学や下仁田町まで足を運ばれませんか？

○理事の独り言(その15)



立場上、精神の緊急通報の第1連絡者になっている。夜だろうが休日だろうが警察や住民、家族などから自宅に電話が入る。この対応で「公務員はいざというときは何もしてくれない」という批判も受けたことがある。「誠

心誠意」公務員としてあたり前のようできない姿勢である。

この田舎では、プライベートで外出すると仕事で付き合いのある方々に、必ず顔を合わせる。家族も「課長さんの奥さん、子どもさん」としてみられる。私たち公務員には実はプライベートというものはないのかも知れない。「公僕」死語となってしまった言葉を今一度肝に命じなければいけない。

一連の社会保障制度改革により虚弱高齢者、障害者や被生活保護世帯の生活は打撃を受けるといわれている。今まで保健行政はどうい

う人達を対象にしてきたのだろうか？私たちの仕事に付き合う時間や経済的にゆとりがある人達だったかも知れない。「木をみて、森を見ず」私たちがみていた森は、その一部だったのかも知れない。

こういう時代に入り、「フッ化物洗口」の意義は益々大きくなると感じている。これこそ「木をみて、森をみた」取り組みに他ならない。そして、生涯をとしてみわたすと「水道水フッ化物濃度適正化」は推進すべき取り組みであると痛感する。

「やまあらしのジレンマ」冬のやまあらしたちの生活は、お互いが近づきすぎるとからだのはりが刺さってしまう、離れすぎると寒くなる。精神の患者さんへの支援の例えに使われる。自殺や虐待、少年事件などではメンタルな面が注目される中、人間関係の適切な距離感が大事であると痛感している。実は健康づくり・介護予防の取り組みも結局、人づくりである。フィールドワークで培われる私たちの距離感覚、アンテナ感覚はとても重要である。

ひょんなことから認知症寸劇のメンバーになってしまった。メンバーは施設職員や家族などからなる。何で自分に声がかかるのかと思うが、シナリオ作りなどをとおして認知症について勉強させてもらうことが多々ある。これも仕事をとおしての人と人のつながりのおかげだと思う。

わが家の6年生の男の子が野球をやっている。夏場は平日帰宅してもまだ明るく、キャッチボールやノックにつき合うこともある。チームではエースのこどもが思いっきり投げるボールは、ミット越しに年々の成長を感させる。私も負けまいと力いっぱいかえす。親子、汗を流しながら気持ちをかよわせるのは幸せなことである。仕事でも、何歳になっても「渾身のストレート」を投げ続けたい。

お知らせ

・第30回むし歯予防全国大会

日時 H18.10.25(水)~27(金)

場所 血脇記念ホール 東京都千代田区三崎町2-9-1
(東京歯科大学水道橋病院2階)

主催：NPO法人 日F会議

内容：基調講演「フロリデーショ；すべての人々に健康を」 E. ニューブルン
シンポジウム「フロリデーショ実現の課題」

シンポジスト：池主憲夫(日歯常務理事)ほか3名

<http://www.f-take.com/30taikai.htm>

・長崎全国大会関連

第17回全国歯科保健推進研修会

日時 H18.11.10(金) 10:30~16:10

会場 長崎県農協会館・7F(長崎市出島1-20)

内容 下記URL参照

http://www.pref.nagasaki.jp/kenko21/dental/ivent/H18-11_10.html

第27回全国歯科保健大会

日時 H18.11.11(土) 12:30~17:30

会場 長崎ブリックホール(長崎市茂里町2-38)

内容 下記URL参照

http://www.pref.nagasaki.jp/kenko21/dental/ivent/H18-11_11.html

・8020推進財団 第6回フォーラム8020

日時 H18.11.19(日) 13:00~17:30

会場 佐藤栄太郎記念講堂(さいたま市大宮区桜木町4-333-13大宮法科大学院大学ビル2階)

JR・東武野田線・埼玉新都市交通伊奈線 大宮駅下車 西口より徒歩5分

主催 (財)8020推進財団、(社)埼玉県歯科医師会

内容 下記URL参照

http://www.pref.nagasaki.jp/kenko21/dental/ivent/H18-11_19.html

・日本ヘルスケア研究会 ヘルスケアミーティング 2006

シンポジウム1

私たちは日本の歯科疾患の疾病構造を変えることができるか? その戦略を考える

日時 H18.11.19(日) 9:30~16:15

会場 砂防会館別館(東京・平河町)

内容 下記URL参照

http://www.healthcare.gr.jp/img/sympo_head.jpg

・国立保健医療科学院、歯科衛生士研修

研修期間 H19.1.15(月)~1.26(金)

申込期間 H18.10.2(月)~10.31(火)

詳細は下記URL参照

<http://www.niph.go.jp/entrance/h18/418sikaie.html>

・全国保健所長会、平成18年度第2回医師臨床研修「地域保健・医療」指導者研修会

期日 H18.11.9(木)~11(土)

場所 新宿区立産業会館「BIZ新宿」多目的ホール(東京都新宿区西新宿6-8-2)

対象者:原則3年以上の公衆衛生実務経験を有する行政医師、歯科医師、保健師等

(歯科衛生士も参加可能です)

詳細は下記URL参照

<http://www.phcd.jp/osirase/osirase.html>
